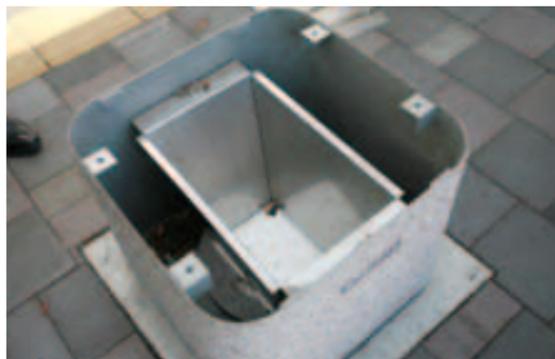




解体すると炊き出し釜が現れます



トイレはマンホールに直結



備蓄倉庫には食料や生活用品が

JR前橋駅のほかマンホール直結のトイレは、避難所に指定されている学校の一部に、順次増やしていく予定です。

炊き出し釜ベンチは分解すると、ゴトクが二つ現れます。ゴトクに鍋を置き、薪で煮炊きする設計です。使ってみたい気はしますが、路面が火で傷んでしまいますし、災害時は避難所で炊き出しが行われますので、よほどの緊急災害時でない限り使用しないそうです。

### 計画的な備蓄が進む

続いて、西消防署にある備蓄倉庫を



テントを付ければプライバシーの確保も

# 災害時の備え、 していますか？



阪神淡路・東日本、2つの大震災と、昨年のも未曾有の豪雪の記憶も生々しく、その時は真剣に考える災害時の備え。でも、何をどうすればいいか迷い、結局何もしないままになりがちです。そこで、9月1日の防災の日になみ、前橋市に防災対策を教えてくださいました。  
担当は市民編集委員 久永孝・立田洋子

問い合わせは 危機管理室 ☎027-898-5965

### 駅前ベンチがトイレや釜に

JR前橋駅北口には、災害緊急時、トイレと炊き出し釜になるベンチがそれぞれ2脚ずつあります。これらを、災害時を想定して分解、トイレと釜に組み立てていただきました。

トイレベンチは、マンホールに直結して設置されています。近くの避難所に保管されている、トイレを囲むテントや便座を取り付ければ、すぐに利用できる仕組みです。



座面をはずすと緊急用トイレに

見学。

ここにはアルファ米、ビسケットなどの食料や水、簡易トイレなどの生活用品が保管されていました。

現在は10万食分ですが、5万6,000人の1日分、16万8,000食を目標に備蓄が進められています。

消防本部にも備蓄倉庫があります。が、避難所となる小中学校にも倉庫を造るといふ、5カ年計画があります。

### 我が家でも防災対策を

しかし、災害の備えは自助努力が基本です。

面倒なことはありません。登山にも行くつもりで気軽に、賞味期限の長いものを少しずつ備蓄していくという方法でじゅうぶんだそうです。

アルファ米など非常食や手動ラジオ、手動発電機などは、ネット通販やホームセンター、大型電機店で手に入りますので、お買い物ついでに探してみたら楽しいでしょうね。

防災対策や災害時には、正確な情報が欠かせません。

前橋市ホームページの「防災ポータルサイト」では、最新の気象・防災情報が入手でき、「まちの安全ひろ



前橋市総合防災マップ

メール」に登録すると、防犯・防災・気象情報などが、リアルタイムで受信できます。

さあ、まずは市から配布された「前橋市総合防災マップ」を片手に、わが家の防災対策始めましょう。



忘れてはいけないのは、ペットのための備えです。

人間は避難所に行けば何とかなるかもしれませんが、ペットは避難所に入れない、フードが手に入らないなど、かなりの制約を受けます。

ペットは大切な家族。フードやトイレ用シートは余分に購入しておき、万一の際はどうするか、考えておきましょう。